



読売新聞東京本社前橋支局長
春日 貴光様

群馬ふるさとづくり賞を受賞された、高崎市の「がんばるお母さん支援事業 iitoko」の皆さん、奨励賞を受賞された「おおた・まちの先生見本市実行推進協議会」、前橋市の「子どものくらしを守る会」の皆さん、おめでとうございます。

ふるさとづくり賞を受賞された「がんばるお母さん支援事業 iitoko」は、4年前から障害児の母親を支える活動をしてきました。じっとしていることが難しい子どもの髪を会員の美容師が切ったり、外食の出来ない親子に昼食を提供したりしてきました。地域の空き家を活用し、全員がボランティアで行っていることには驚きました。審査会では、継続性、発展性の観点から高い評価が集まりました。審査委員からは、「お母さんの応援団というキャッチフレーズに相応しい活動をしている。」「障害児の子育てに奮闘している母親の支援という、行政ではなかなか手が行き届かない分野に取り組んでいる。」といった観点から強く推す声がありました。中には、孤軍奮闘でがんばる愛と勇気と行動力に、心から拍手を寄せたいという感想も寄せられました。

奨励賞に選ばれました、「おおた・まちの先生見本市実行推進協議会」の皆さんは、学校では教わらないことを子どもたちが体験できるイベント、「まちの先生見本市」を年に1回開催しています。市内の70の企業や団体などがプログラムを提供し、県内外から5千人が来場する大きなイベントを、継続して運営していることに評価が集まりました。物づくりのまち、太田の強みを活かした取組だという感想がありました。

前橋市の「子どものくらしを守る会」は、見るからに興味をそそられる丸い折り紙を使って、様々な物をつくることを親子に教える講習会を開いています。折り紙一枚あれば、親子の会話が弾むという発想が素晴らしい。

今年は例年になく、地域で活発に活動している団体が多かった。もっと沢山の団体を表彰したいという声もありました。地域に密着し、活動を続けている皆さんには、本当に頭が下がるばかりです。賞を励みに、皆さんの活動がますます発展されることを願っています。本日は誠にありがとうございました。



群馬県地域づくり団体 研修交流会 in 渋川

宮田ほたるの里を守る会

群馬県地域づくり協議会では、毎年、県の各地でそれぞれ活躍している団体の皆さんの所へ赴き、自分たちの活動の糧にするため、『群馬県地域づくり交流会』を開催しています。

今回は、平成30年7月13日、渋川市赤城町において、「宮田ほたるの里を守る会」の皆さんの協力で、研修交流会を行いましたので、同団体の活動と研修内容をご紹介します。

年間行事



3月
ほたる池に水芭蕉が咲きます
4月
四阿の草刈り
5～7月
水路整備 (340m)
来年のためにカワニナを放流
5月下旬
遮光ネット張り
6月第3土曜日
宮田ほたる祭り
6月下旬
三原田小総合学習 ほたるの話
7月中旬
ミスホテルの一日警察署長
10月中旬
県立尾瀬高校自然環境科
水中生物体験学習会
赤城ふれあい祭りに参加

